・会員企業の更なる活性

・「ものづくりをテーマに

④完了報告

所定の実績がある各分野 の専門家138名(令和 りています。また、会員 しています。また、会員 企業から推薦された専門 企業から推薦された専門

⑤審査後に交付金額の確

詳細は工団連の担当

費用

専門家の報酬、

した注目企業経営者講演

今月号の紙面 令和4年度事業の実績・

地域団体の活動報告 東京都から2020世界発信プロジェクト告知・ 工団連からのお知らせ 東京ビッグサイトイベントガイド

連載企画「企業リレー探訪」…4面

工団連からの研修活動報告・お知らせ



発 行 所

一般社団法人 東京工業団体連合会 東京都中央区銀座2-10

(03) 3546 - 2525F A X (03) 3546 - 2853(購読料1部100円、年間600円 会費より徴収) https://www.tokyo-koudanren.or.jp

響を受け減少に転じた。

令和5年度はやっと回

ナウイルス感染拡大の影 和2年度以降は新型コロ も年々増加していたが令

活用団体・事業の事例

易い制度となってきた。

を追うごとに現場の実態 を迎える本事業は、年度

に即して改正され利用し

活用するものです。 事業の企画・実施に際し

本格スタート後12年目

が会員企業を対象とした

支援するもの。

団体自ら

強化支援事業」は地域の

ものづくり基盤技術

上業・産業団体の活動を

域会員団体のより一層の兆しも予想され、い

層の

活用を期待したい



産業交流展 2022 工団連ブ-援打を支 P R や る。 とした計画 る三密回避の行動を基本 際してはコロナ禍におけ *一般の見学ル



付決定 ②審査後に交 ③事業実施 (決定後)

①申込申請書 お問合せくだ ーマが発生し たら工団連に

トのみ 都産技研での依頼試験風景

助するものです。 状況が続いてきた。 会や見本市などを開催、 や出展への支援 化する取組みに対し、東めに必要な基盤技術を強 く環境は、新型コロナウのづくり中小企業を取巻 年度もこれまで以上の活 や見本市に出展し会員企 体などが開催する展示会 団連が費用の2/3を補 い経営環境に対応するた づくり現場を取巻く厳し 体等や会員企業が、もの する地域の工業・産業団 見通しの不透明な困難な 用を期待したい。 京都からの支援を受け工 イルス感染拡大の影響で 【ものづくり基盤技術 (事例1) 展示会の開催 本事業は工団連に加盟 強化支援事業】 ◆地域団体自らが展 東京都内で活動するも 自治体や企業・団 助成するもの。 展示会は相次ぎ中止を余場でリアルに開催される 現場の環境悪化により、 繋げる活動への支援。 物作成等の委託費用が助PR用コンテンツ・販促 ス+オンライン)、 企業の地方拠点を視察す ル十オンライン併用展示 られてきた。今後はリア 制作等新たな対応が求め 空間)併用での開催が主 ンライン(ヴァーチャ 団体に所属する優良会員 の習得による技術向上に 人材育成、また最新技術 ◆会員企業の意識改革や 成対象となる。 ・その際は出展料(ブー 想され活用を期待したい。 会が主流になることが予 流となり、コンテンツの 儀なくされた。結果、 (事例2) 先端・先進工 近年は都内ものづくり コロナ禍においては会 施設の視察研修 視察会」「先進事例から 「会員企業優良事業所

実施に ンライン同時開催) リッド開催 オンライン開催やハイブコロナ禍においては、 象となった。 催により、会員の知識習 ◆ものづくりをテーマに した研修会や講演会の開 意識の向上を支援。 (展示会とオ

るケースが増加。

業に活用されている。

コロナ禍においても活

地域団体の会員企業が直

依頼試験等助成事業」は

他方「専門家派遣事業」

接利用する助成事業で、

また、

『が求めら

用が可能です。 【ご利用の流れ】 利用したいテ

スも多く地域団体におい 会保険労務士、 きっかけに入会するケー 士、ITコーディネータ 中小企業診断士、 力な手段として活用でき 榎極的なPRが望まれる。 新規会員獲得の有 税理士、

か、各専門分野について一等の公的資格保有者ほ 、公認会計

の皆様に、本稿で改めて事業を紹介し積極的な活用をお願いする。が昨年後半より収束の気配も感じられる。とはいえ厳しい状況のもと活動を続ける会員団体・企業推進してきた。コロナ禍も早丸3年を経過。この間事業を取巻く環境は厳しい状況が継続していたのもと「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を工団連では平成25年度(専門家派遣事業は平成25年度)より東京都・都議会関係機関などの支援 活動は対象外となる。 成果を明確にした活動が として視察目的・課題、 のづくり専門団体・企業 活動は対象外となる。もの視察や懇親が主目的の

(助成対象経費) 地域・企業研究」 学ぶ」「ものづくり先進 の交通費(バスの借上げ・現地まで及び視察先で ものづくり企業の課題を

料金)、視察先講師(説明 象となる。また、工程が 費用、高速道路代、 部も助成対象となる。 る場合には、 目的・必要性が認められ 2日間に渡る場合でその への謝金等が助成対 宿泊費の 駐車 ◆ また、

対象外) 費(リニューアルは助 画制作等に係る外部委託 事業1件当たり360

経営課題の解決にお役立

助成が得られる場合の併 の補助率で助成 万円を限度として2/3 ついて、区市等自治体の *残り1/3の経費に

だいている。 また、本事業の利用を

原則、最大5回 ⑤利用報告 家への報酬支払の手 いただきます(これ って事業終了と 工団連に報告書を 続専を提を門持出

依頼試験等助成事

の会員企業(新規会員含・工団連加盟の地域団体

いします。 様の積極的な利用をお願

申請要件

助成事業を実施するので

令和5年度もこれらの

地域団体・会員企業の皆

代技術研究セミナー」 ービス伝承講座」「次世 る「産業振興セミナー」 **話題のテーマ、講師によ** 会」「ものづくり技術・サ 専門技術研修」や注目・ ので、 事例以外の場合でも助定・助成金支払。 団連事務局までお気軽に お問合せください 成対象となる場合がある 利用に際しては工

•講師謝金、会場• 《助成対象経費》

借上げ費用、 実施困難に直面したが収 印刷等(外部委託費) 紹介した事業は対面での *なお、コロナ禍の現状 助成対象となる。 検討・工夫が必要 束後においては対面での においては事例1~3で (その他事例) 資料作成 が

業も支援の対象となる。 の新規制作」「団体紹介 ・ホームページ、紹介動 信力強化を目的とした事 動画制作」による情報発 《助成対象経費》 「ホームページ する課題の解決を、

い」などの声を多数いた派遣回数を増やしてほし 家のアドバイスが「すぐ てください に役に立った」「もっと 利用企業からは、

が作成します ③派遣実施計画作成 もできます 相談にもとづき専 専門家を指名すること (または企業推薦)

2 3その他の認定機関 サービス

(3)(2)(1)技術相談 (4)(3)機器利用 (4)オーダーメード刑 技術支援 ・ 技術支援 講習 型

決経!営・ 「専門家派遣事業」 専門家を無料で派・技術の課題を解

と個別にご相談くださ

す。*都外の拠点へ

にご相談ください。
、交通費は専門家都外の拠点へ派遣
が負担しま

を工団連が負担

談下さい。

て専門家の派遣先は都までの交通費(原則とし

業に活用いただいた。 12年目を迎えるが、コロ成24年度に開始してから の様々な経営・技術に関 ナ禍においても多くの企 専門家派遣事業は、 会員(新規会員も含む) 「専門家派遣事業 用申込書」を工団連 ェブサイトからダウ

-ドあるいはご案内

チラ

シロ で
の
ウ

利

業者等が、技術開発及び

に所属する会員の製造事「工団連」の会員団体

製品開発等に係る課題の

能となっている。この機 手伝いするもので、コロ 豊富な専門家が無料でお 事業をご利用いただき、 会に工団連の専門家派遣 致すればオンライン併用 ナ禍においては条件が合 でのアドバイス併用も可 経験 場合は結構です) ジのプリント可。(な 類を同封し工団連まで郵入・押印の上、所定の書シ裏面に、必要事項を記 ①お申込み メールでも可能です の 場合は、 FAX、 分かるもの。ホームペー※会社概要及び所在地が 送でお申込みください。 登録専門家の利用申 (ご利用の流れ)

ド、ご案内チラシ裏 ②専門家のマッチ サイトからダウン (用紙は工団連のウ ない ェブ 口 が提供するもので、②に回に掲げる試験研究機関助成対象経費は、次の | 利用出来ます。 ①大学又は高等専門学 試験研究機関 た場合の利用料金です。 掲げるサービスを利用し 助成対象経費

(2)東京都立産業技術研校 地方公共団体が設立究センター等の国・

トをしている。

-2525

頼試験等を行う場合、利ため、試験研究機関で依解決又は技術革新を図る 上限20万円(対象経費 1依頼試験等の依頼を証 2 等

試験実施日以降になる (2)工団連への申込みが です。 場合でも受け付け可能

に達するまでは何回でも同じ年度内であれば上限

工団連HP内には

り利用をお願いする。 ◆各助成事業についての

合会事務局 社) 東京工業団体連

https://www.tokyo-

人材育成・教育のサポー 会の開催や会員企業の従と共催でセミナー・講演 koudanren. or. jp/ も地域の工業・産業団体 研修・セミナーを開催し 業員を対象とした各種の 工団連ではこれ以外に

| しています。 | 支援や開発支援等を受け 要となる依頼試験、技術開発や技術革新の際に必者等が技術開発及び製品工団連では、製造事業 象として、 同一の依頼試験等を対

ح ・法人事業税、法人住民 助成金等を受けていない共団体その他の機関から と 国又は地方公

V

な添付資料 申請 申請・請求時に必要

1

ですので、担当者にご相ですので、担当者にご相にいる場合でも受け付け可能をいる場合でも受け付け可能をいる場合でも受け付け可能をいる場合で、工団連への

なお、申込みと試験実

(1)利用する試験研究機関 及び依頼試験等の概要 がわかるもの。

(2)前年度の法人事業税、 確認できるもの(納付法人住民税の納付が 請求

用の際に要する経費の一

(領収書・振込依頼書くは助成対象経費の支

事込

の2/3以内)

Ⅱ助成限度額

部を助成する。

都産技研直結の技術相談 コーナーも設置されてお

303-3546

いつつある。

連 計画(概要)を紹介する。 実績報告と令和5年度の が、それ以外の自主事業 も含めて、令和4年度の の柱として進めて行く 事業」「依頼試験等助成事 化支援事業」「専門家派遣 ものづくり基盤技術強 上団連では、

今年度も の3事業を支援事業

工 寸 ご参照ください) 《ものづくり基盤技術強 地域の工業・産業団体

た。コロナ禍以前と比べ 業で活用。助成金額は いるが、件数・金額とも 年度は7地域団体が9事 目指す事業です。令和4 ると減少傾向は継続して て団体自らの基盤強化を 283千円であっ 期待したい。また実施が から変化が見られ今後に 場方式での実施(オンラ イン開催併用含む)であ したこの2~3年の状況 展示会では全事業が会 開催中止も多く発生



ものづくり展示会出展

ものづくり現場視察

3社 (1社)

と共催で5件の

令和5年度も東京都、

までの活動の遅れを取り

防止措置の再延長でやむ

に願うものである。

れ本

転じようやく収束に向か に猛威を振るった「新型 度の事業に着手されてい コロナウイルス感染症」 し各団体においても新年 3年余りに亘り世界的 令和5年度がスタート 昨年後半より減少に | 令和3年度に比べて増加 半数弱にのぼったが令和 4年度はゼロであったの 2, 中止が6団体6事業の 大により交付決定事業の ロナウイルス感染症」拡 今和3年度は「新型コ 活用団体においては団 346千円と事業の

じられる。

(各事業の概要は1面を 7団体について実施数を 続している。 事業となっている。 である以外は全団体が1 見ると、3事業が1団体 体が固定化する傾向が継 業支援で成果を上げた 体の活動力強化・会員企 令和4年度に活用した 令和4年度も利用団 されることから引き続き 報収集・提供手段として の標準装備と思われ、ま はやホームページは組織 情報装備強化への積極的 される状況の継続も予想 た当面は人的接触が制限 な取組に期待したい。 工団連では今後も、情

が6事業を占め、他は 「視察研修」が3事業で 「展示会への出展助成」 また、事業内容では 団連の主要な助成事業と 化に向けたPRと支援に 性に鑑み、情報対応力強 デジタル技術活用の重要 して進めて行くので各団 本事業は、今年度も工

が会員企業の支援を通し 難しい状況が続いていた 先進施設・工場等の視 体の積極的な活用をお願 体·事業数] いしたい。 [令和4年度事業実施団 中野工業産業協会 会 (1件) 654千円 (一社) 江戸川工場協 (1件) 102千円

(公社)世田谷工業振興

共催講演会の風景 荒川中央工業会:

• (一社)大田工業連合会 協会(1件)769千円

(3件) 2, 749千円 (一社) 豊島産業協会

察・研修も復活の兆しが

見られ人的接触が主とな

会 (1件) 144千円 (一社) 板橋産業連合 652千円 以下は各1社

る従来型の形態での事業

実施への回帰の兆しも感

会(1件) 213千円 (一社) 練馬産業連合 業連盟

(一社) 目黒区産業連

件、1,275千円増加 成金額3,540千円 で、昨年度と比べて13 実施件数33件(企業)、助 した。利用目的として 令和4年度の実績は、 千円減少。 数は3件、金額は624 令和3年度と比べて、件 額は609千円であり、 《依頼試験等助成事業》 令和4年度は13件、

年度は新規の制作団体は はかなり高まり、令和4

なかった。とはいえ、も

でのホームページ保有率

他方、工団連会員団体

域団体数は8団体。また、 5件などである。令和3 の結果となっている。 支援」が多数を締め同様 金申請」「経営•業務改善 年度との比較でも「助成 で大半を占め、他には 改善支援」が13件と両者 務」が13件「経営・業務 として有効といえる。 利用を契機に入会してお 5社は専門家派遣事業の り、新規会員獲得の手段 利用企業33社の所属地 経営計画策定支援」が 一助成金申請支援業 な利用を呼びかけたい。 り、本年度も更に積極的 知・理解が高まっている るなど利便性の向上とP が予算にはまだ余裕があ Rに努めてきた。 年々認 の申請も可能」と変更す 内であれば事後に纏めて 実施後の申請」や「年度 ングで行われるなどの特 所属団体と利用件数) 徴があることから「試験 と試験実施が同一タイミ して研究機関での申込み 「令和4年度活用企業の 依頼試験の発生形態と

度も各種補助金の申請を 検討している会員企業に 浸透しており、令和5年 内容の有効性理解は年々 本事業に対する認知と 太田工業連合会:3件

所属団体と企業数(新加 イスを(申込)御願いする。 は積極的な活用のアドバ 「令和4年度活用企業の

日暮里工業会: (一社) 太田工業連合 13社 (4社)

• 多摩高度化事業協同組 (一社) 板橋産業連合 合:2社 会:2社 数参加した。

(一社) 東京都江東産 り会場開催に戻った。 リッド)へと変化してい 態もオンライン(ハイブ 染拡大の影響から開催形

進めテーマ開発、 合計参加者数]

修を3回開催した。

墨田産業協会:6件

ミナー・講演会」「経営セ 体と共催で「労務管理セ では地域の工業・産業団 • 葛飾区産業連盟:1件 《共催での講演会》 それ以外にも、工団連 江戸川工場協会:1件

理セミナー」が開催され 地域団体の会員企業が多

尚、コロナ禍に入ってか たが令和4年度は後半よ

「令和4年度開催団体と

主催・32地域団体共催研 《工団連自主企画事業》 まず4月に「新入社員 工団連自主企画事業で 令和4年度も工団連

•日暮里工業会:2件 連続して開催しており 16名が参加。入社早々の 4月初めに2日間新社会 今回も6地域団体7社の へとしての基本を学ん 本研修は平成27年以来

令和4年度は、3団体 経営管 の中堅社員の課題解決ス もので6地域団体8社の 催した。本研修は、各社 19名がエントリーしてい 当初は9地域団体10社の 15名が課題に取組んだ。 キルアップを目的とした 決研修」を会場形式で開 次いで11月に「問題解 動画再編集を行った。

新型コロナウイルス感

態の工夫等積極的に支援

会:1件(20名)

更に年明け3月には中

らは開催団体が減少傾向 地域団体との連携をより にあったが、今年度は各

•(公社)世田谷工業振興 会:1件(105名) 協会:3件(149名) (一社) 品川産業協 (一社) 大田工業連合

ビジネスマナー研修」開

業のPRと地域団体や会 自主事業として2つの展 員企業との交流をおこな 《産業展への出展》 **令和4年度も工団連の**

となった。工団連は後援 ①「産業交流展2022 き会場方式で10月に開催 団体として9回連続の出 染症拡大の影響から開催 展は令和3年度に引き続 方式の変更もなされた同 ルの更新や工団連紹介 新型コロナウイルス

感

4名が直前に辞退するな る結果となった。 たが直前の体調不良等で どコロナ禍の影響を受け

ーダー育成研修」を開催 材育成をテーマとしたも 堅社員を対象とした「リ っての重要課題である人 した。本研修は組織にと

名が参加。極めて活発な 6地域団体12社より29

迎え定例開催に伴い、継 討しつつ、よりパワーア リットと考えられる。令 な参加費用で提供するこ 知・理解も高まっている。 和5年度も一部のプログ ップした企画を積極的に ラムのリニューアルも検 の高い研修を極めて低廉 加するなど会員企業の認 続的な参加企業が年々増 とは会員企業に大きなメ 工団連の助成により質 コロナ禍の収束も見据 研修企画も10年目を との連携をより強化した 開催となった。 止となっており、 22」また2月には「た 体的に検討したい。 が、地域団体(会員企業) 5年度も継続予定である た。本展は新型コロナウ ま工業交流展」に出展 イルス感染症拡大の影響 いと考えており企画を具 により3年連続の開催中 展示会への出展は令和

業」「専門家派遣事業」 等を基本に、「工団連主 開催」「展示会への出展 の「3助成事業」を柱に くり基盤技術強化支援事 「依頼試験等助成事業」 「研修事業」「講演会の **令和5年度も「ものづ**

容充実、更にリニューア 催講演会の開催」など更 ルにより機能を強化した 団連」、「メルマガ」の内 企図している。 内容を充実させることを に新規事業を加えて益々 また加えて「機関紙下 面からPRした。同展は との交流もいつも以 で4年振りの開催となっ 新型コロナ感染症の影響 活発な印象を受けた たが久々の開催で来場者 展での活動を契機に

世田谷工業振興協会の ト」の展示にて臨み注目 クーメロン水耕栽培キッ 加えて、町田テクノパー 年度も展示用製品として 「AE-TOWER」に

(開催日程)

尚、

今年度について · 令和4年10月19日水

は、11月20日月~22日次 ②「たま工業交流展20 の3日間で展示会開催が 予定されており準備を進

助成金を禁

的に活用

支援事業

雰囲気で開催された。

団体の事業が無事開催さ 響があったが本年度 ものづくり活動」

感染症

展示会参

視察研修

式ガイドブックにも団体 団体が出展した。また公 動をPRした。会期中は ものづくり中小企業の活 まMONOづくりメッ 16コマを借り上げ10社と セ』に出展し会員企業と 開催された『第16回 は3月2日~4日の3日 間サンシャインシティで 企業の広告を掲載 (一社) 豊島産業協会 じ多 とし

用をお願いしたい。 支援を強化して活動 地域団体、会員企業 めて行くので積極的 関係機関との連携の もと | 戻すことを期待したい。

行われ、 の事業活動が 末に地域 たが な活産 への

可された日本有数の製鉄

の紹介で視察が特別に許

修は、若手経営者を主体 度2回目となる本視察研 なく中止となった。本年

に22名が参加。 会員企業

豊島産連ブース

業する現地工場を視察し

に2日目は会員企業が操

現場での意見交換を実施

し貴重な機会を得た。更

会社生産ラインの視察と

「ものづくり

動状況を紹介 地域団体の活 基盤技術強化 ロナウイルス は、「新型コ 積極 た の 出展した。 社と団体が共同ブースに マを借り上げ会員企業5 PRした。 会期中は 5コ MONOづくりメッセ』 連合会も『第16回としま づくり中小企業の活動を に出展し会員企業ともの 同連合会としても7回 また (一社) 練馬産業 るとのこと。 としたところである。 予定どおりの催行にホッ 等情報集・意見を交換し た。昨年同時期には交付 工場進出に伴うノウハウ

止となった経緯もあり、 決定済みの視察事業が中

本年度も実施を計画す

する。昨

出展企業も増え、自社を 者と交流した。複数回の 年振りの開催となり出展 目の出展であり、また4 後の活動に期待したい。 との理解も進んでおり今 企業各社は積極的に来場 アピールする絶好の機会

大森工場協会視察研修

2日間 『先進ものづくり 協会が3月10日~11日の 企業の視察研修』を実施 した視察研修は、まん延 した。昨年同時期に企画 更に (一社) 大森工場 うして終了したが、コロ しており早期の収束を直 なマイナスの影響を及ぼ 見え今後に期待したい。 な状況が続いていたがコ ナ禍は我々の活動に大き る工団連にとっても残念 なっていた。多摩地区で 20回たま工業交流展」出 ロナ感染症収束の気配も の活動強化を目指してい 展したが、同展について 日~22日の2日間「第 も、3年連続での中止と 今年度の事業活動もこ また、工団連が2月21

練馬産連ブース

これらの案件に対し

ます。また、中長期的な

ビジネスパートナーの開

す。電子契約は、 で利用することができま な技術を求める際に、チ

わず、物品の調達や新た

業者と、受注エントリー

発注案件を掲載した事

した事業者との契約締結

ャンスナビに発注案件と

時に当サイトが提供する

電子契約サービスを無料

して掲載することができ

拓なども案件として掲載

の製本や郵送などの作業

印紙税や契約書の郵

な商談をサポートしま グ先のご紹介まで、円滑

発注コーディネータは

東京都の外郭団等が、 子入札に参加

様々な電子入札案件を掲

した事業者は、貸与され

工

ビを通じて、入札に参加 載しており、チャンスナ

イン商談が可能です。

(商談ルームの貸与に

たルームで自由にオンラ

することができます。

ジネスマッチング 企業の業種や規模を問

民間企業同士のビ

は

期限があります。)

都外郭団体等の電

に対して、オンライン商

談ルームを貸し出しま

ます

す。発注者とエントリー

ご活用ください。

した発注案件に受注エン

があると、発注者

オンライン商談を希望

い営業ツールとしてぜひ

術提案といった受注エン

効率化やコストの削減に

【代理店募集機能】

となるため、契約業務の 送・保管費用などが不要

トリーも可能です。

(3)

ると、 商品の PRができ

ご希望の場合は

自社商品情報を登録す

太陽光発電に使用する

液状シリコーンのゴム (民間発注案件掲載例)

約した、オンラインのビジネスマッチングサイトです。ご登録やご利用は全て無料です。東京20 20大会等を契機として開設されて以来、約7年が経過し、全国の事業者から約4万3千件のご登 「ビジネスチャンス・ナビ」(以下、「チャンスナビ」)は、官民の入札・調達情報を一元的に集

報収集ができます。新し 活動のデジタル化は、中 進んだテレワークや営業 マートフォンから、外注 事要な課題となっていま スや自宅のパソコン・ス 先の開拓や受注機会の情 小企業にとって引き続き コロナ禍を機に導入の 当サイトは、オフィ の検索・発信をしたりで す。 覧したり、登録企業情報 きるサイトとなっていま の入札情報を一元的に閲 企画·製造 ・ディスプレイキットの 部材治具製作 【オンライン商談機能】 このほかにも、 とができます。 理店募集中の案件は、探 しやすいように、タグが 販売代理店を募集するこ

> ログインし、受注エント の中には、毎日サイトに

チャンスナビユーザー

i2020/bcn/

【ものづくり案件のマッ

都中小企業振

ビ」活用の

ジネスチャンスが広がり 付いて表示されます。) 販売網の拡大など、ビ

いだマッチングも実現し 置されており、県をまた 全国の各地方に計6名配 ットワークサポーターは

難いです。

業の発注情報から市場動

er@chancenavi.jp

【おすすめ案件通知機能】 ので、あわせてご覧くだ ップして紹介しています 方や登録企業をピックア ャンスナビの便利な使い てご紹介しています。チ ローズアップサイト」に

利な機能をご用意してい 方のために、『おすすめ まめに掲載案件をチェッ 社内展開するという、積 案件通知機能』という便 クするのが難しいという 極的な活用をされている リー可能な案件はすぐに あらかじめ自社に関連 しかし、多忙な中、こ だき、受注機会拡大のツ 掲載案件をチェックいた 件でマッチングが進んで います。ぜひ、定期的に ッチング先の紹介にも注 局では、ものづくりに関 チング支援】 力しており、数多くの案 する発注案件の開拓やマ ールとしてご活用くださ チャンスナビ運営事務

方もいます。

○協力会社を探すとき 【利用企業の声】

ターと呼ばれる支援者 されます。さらに、メー を設定いただくと、該当 するキーワードや業種等 ルでの通知を設定するこ に、マイページ上に表示 する案件が掲載された際 が、発注案件の掲載から 全国ネットワークサポー 【充実したフォロー体制】 ーズに沿ったマッチン 発注コーディネータや のかといった裏付けがな ので大いに頼りにしてい 時は、発注コーディネー 踏み出せません。そんな ックアップしてくださる タが間に入って、弊社と いと、なかなか一歩前に か、そもそも信頼できる 保つ技術や実績があるの は、弊社と同じ高品質を マッチしそうな企業をピ おり、 になります。

ともできます。

○チャンスナビ上に掲載 らかじめ確度の高い候補 企業を絞ってもらえるの されている、自治体や企 は、効率が良く非常に有 なさん多忙ですので、あ 中小企業の経営者はみ ビジネスチャンス・ナビ メール:sme-webmast jp/bcn/ 電話:03-5822-7239 ◆お問い合わせ ンもこちらからhttps: 連営事務局 //www.chancenavi. ユーザー登録・ログイ

中小企業受注拡大 プロジェクト

事業実施状況」「令和4

令和4年度工団連助成

• 懇親会

催された。理事会では 4年度第2回理事会が開

3月23日15時より令和

• 都施策説明15時~

日時:5月25日本

年度決算見込」報告と「令

中央会館7階

~受発注取引のマッチングサイト~ ビジネスチャンス・ナビ

https://www.tokyo

-kosha. or. jp/seka

チャンスナビ 🔍 で検索!

ング事例は「登録企業ク

チャンスナビのマッチ

◆東京都中小企業振興公社の事業はこちら https://www.tokyo-kosha.or.jp/

報告及び令和5年度理事会

総会等諸会議開催のお知らせ

令和4年度第2回理事会の

の第64回通常総会で審議 については5月25日開催 れ承認された。 令和5年 され決定される。 度事業計画及び予算(案) 算(案)」の審議が行わ 和5年度事業計画及び予

:6月5日月

る企業との出会いを通じ て事業活動が活性化して 販売戦略立案の判断材料 向が分かるため、自社の また、パートナーとな 大変助かっていま を左記のとおり開催しま ならびに「第1回参与会 また、「第6回通常総会」 すのでご出席方宜しくお 会長会議•第1回理事会」 「第2回正副会長会議」 「令和5年度第1回正副 また、工団連では今後 「令和5年度第1回正

・正副会長会議 14時~ 会場:銀座ブロッサム

副会長会議」「第1回

でご承知おきください

|第64回通常総会| 中央会館了階

理事会で挨拶する廣瀬会長

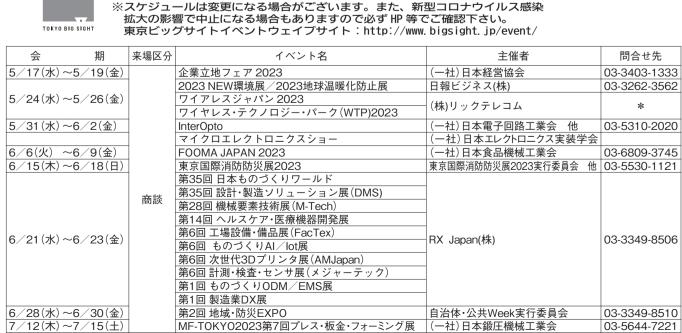
◆令和5年度第1回参与 ては別途ご案内しますの 通常総会 15時3分 会場:東京都中小企業 会場:銀座ブロッサム 会場:東京都中小企業 一令和5年度第2回正 詳細につきまし 会館5階北側会 会館8階C会議 16時30分~

東京ビッグサイトイベント案内(令和5年5月~7月※今回はものづくりに関連するイベントと情報・機器関連イベントも掲載しています。※スケジュールは変更になる場合がございます。また、新型コロナウイルス感染 拡大の影響で中止になる場合もありますので必ず IP 等でご確認下さい。

副会長会議」

日時:8月4日金

15時30分~



地域団体統合(合

併)のお知らせ。 り、これまで地域の中小

代表する産業団体であ 京区産業協会となります。 会は令和5年4月1日よ 両団体は共に文京区を 新団体名は(一社)

副会長

押見 守康氏

局体制は左記のとおり。 正副会長及び事務

力な組織体制を構築し活

更となりました。

/bunsan-k. ムページ:htpps: @bunsan-k.com com/

岩井 湯島天満宮 良夫氏 副会長以 アドレスは下記の通り変 が電話・FAX・メール 所在地は従来通りです (令和5年4月1日付) 長 小能 大介氏以上2氏は代表理事 小 溝出 畑 株日生不動産 雄氏

文京区民センター内文京区本郷4-15-14 メール 電話 H113-0033

会と(一社)富坂産業協 企業支援に貢献してきま たが今般統合により強

:jimukyoku

FAX: 03-3812-1280 :03-5844-6233

26

5年ほど前より私が3

に。その後父が承継し

が当地で創業しまし

リスチレン等合成樹脂

が台頭し、インジェク

イド加工場として祖父(昭和24年)にセルロ

ル、ポリエチレン、ポ代わってポリ塩化ビニ

そうした状況の中、

西務良は1949年

工団連ホームページの

・活用のお願い。 また、令和3年度末の大 を継続している。 ページの構成・機能強化 強化を図るべく、ホー 度毎にテーマを定め小 規模改修と並行して各年 報提供機能のより一層の 凶ってきた。 **楔改修を重ね機能強化を** 数年前の中規模改修、 近年のDXの進行によ 工団連ではこの間、 情

といえる。 て取れ、連携強化は必須 情報装備の標準となって は進化を続けておりホー ージの整備状況からも見 員団体におけるホームペ いる。そのことは地域会 ムページは組織における してデジタル手段の活用 り情報収集・提供手段と

配信機能の強化を目指し 令和2年度以降、動画 加した。 図りたい。 るが、今後は事業別のシ 関係機関から提供される ンテンツは少数にとどま による動画配信機能を追 ンナップの一層の充実を リーズ化等も検討しライ ユーチューブチャンネル 現状では残念ながらコ 印刷媒体による情報」 また今後も、東京都等 憚のないご意見・ご要望 願いし、内容について忌 皆様の定期的な閲覧をお をお寄せください。 改めて読者・関係者の

宜明 西村



主要製品2

食品等商品パッケージ後の

る向上に注力したい よる情報提供力」の更な 報告と併せて「HP等に 団連」による事業・活動 活用も含め、 機関紙 対 *詳細は今後検討する

株式会社西務良



リアケース」は主要商

(開催期間)1日 定 (開催日時) 릥 30 名

代表取締役社長



す。 願いいたしま 指します。 きる企業を目 皆様の一

探り、貢献で

際してのホームページのの迅速かつ的確な提供に ◆中堅社員対象テーマ解 「問題解決」「課題対応 (テーマ) 決型研修

を目指す中堅社員方。 するスキルアップ向上 ・課題・問題解決に対 令和5年秋実施予定 象

最近の研修風景

性が高くセルロイド製 品の火災事故が多発 おりました。 セルロイドは石鹸箱、 の生活向上に寄与して 使用されており消費者 **又房具、玩具、雑貨等** ておりました。当時 況の中での創業と聞 供給もままならない 活関連商品に幅広く しかしながら、可燃 きました。 人され事業を継続して 成形機等が導

り扱い事業分野拡大を 携の下、各種プラスチ ック製品、加工品も取 主力商品のプ 可塑性樹脂は再生可能チック製品の中でも熱 がありますが、プラス のプラスチックを取り 巻く状況は厳しいもの ご存じのとおり昨今

進行等我々を取り巻く ればまだまだ可能性の ーズが強まる中、こう ある素材だと思います。 した製品特性を活かせ であり、時代の環境ニ

課題解決は を増しており 環境は厳しさ

護と生活の便 り一層環境保 す。弊社もよ 利さの共生を 務となりま 会場受講研修で実施し 4月4日~5日の両日 (本紙で既報のとおり)

*来年度も同時期に実施 *本年度は受講者数との 関係で連携研修機関と の共催で開講 終了した。 策

らのチラシ送付、また工 検討も進めますので事務 ガ等でお知らせします。 団連機関紙・HP・メルマ 寄せください。 局迄ご意見・ご要望をお また、新規の研修企画の

中野工業産業協会 (一社) 品川産業協会 (一社) 板橋産業連合 業連盟:1社 一社)東京都江東産

リーダー育成研修

研修風景 レジネスマナー

ください

ルロイド玩具等アメリ

カに輸出が出来なくな

セルロイド製品の

図っておりますが、中

でも「折りたたみ式ク

工

継いでおります。 混乱期でもあり、電力創業当初は、戦後の 代目として経営を引き ション(射出成形)成 形機、バキューム ブロー(中空)

資本金:3,200万円

企業単独では実施が難し 接を図ることを目的に、

会員企業の人材育成支

日々直面するビジネ

る信頼関係構築方法」を具体的に検証した。上げる!」メインテーマに「部下育成の土台とないでは「メンバーのやる気を引き出し、組織力をダーシップ研修」を会場対面方式で開催した。本て、3月2日会員企業の中堅社員を対象に「リーて、3月2日会員企業の中堅社員を対象に「リー

「ビジネスマナーそのも のの理解」と「第一印象 のの理解」と「第一印象 のの理解」や「実際の場 面での言葉使い」などを 面での言葉使い」などを 面での言葉でい」などを でい方理解」や「実際の場 での言葉でい」などを でいって、第一印象 のの理解」と「第一印象

工団連では、令和4年度研修企画第3弾とし

• 透明プラスチック既成容器製造販売 • 透明プラスチックシート製容器製造販

・汎用樹脂・特殊樹脂の各種加工 (射出

オリジナル・バラエティ雑貨・文具製

プレス成型と曲げ・接着)

機械加工及び手作り加工によるデ

成型・中空成形・真空成型・打ち抜き

事業内容:

が成立。これによりセ リカで可燃物質規制法 1955年にアメ 外でも協力工場との連 ラスチック透明容器以 製品を取り揃えて市場 スチック透明容器を研 00種の自社オリジナ 対応した形状、 活者の様々なニーズに 究開発し、多種多様な の自社オリジナルプラ ル容器金型を駆使し生 に提供しております。 そして現在は、 、サイズ 約 上平井産業連合会所属 品の1つです 所属団体: 業:1949年2月 設 立 年:1964年5月

地球温暖化の急速な

催する。

工団連が主催すること

で参加費用も極めて低廉 き、会員企業への案内を に設定しており、本研修 の主旨をご理解いただ お願いする。 「新入社員ビジネスマ

組織の動かし方の体 組織をつくり上げる。 得と目標達成のため 部下が継続的に育つ のスキルアップ

各研修の詳細が決定次 所属する地域団体か かり改善意欲が沸いた』
題を抱えていることが分 信頼関係を作ることの重 価値観の違いを理解して

〈参加者の所属団体〉 が多くの参加者からあげ要さが分かった』等感想 れ、今後の実務場面で は 「社会人としての基本

造販売とOEM製品製造、企画デザイン・製作 令和5年度工団連主催の研修計画 工団連主催・32地域団体共催」

过連

からのお知らせ

を以下の通り計画している。 平成26年度より実施している研修事業につい 令和5年度「人材育成研修年間実施企画」

画3メニューの研修会を 地域31団体との共催で開 み以下の人材育成研修企会員企業のニーズに鑑 助事業)として実施する。 修を工団連事業(東京都補 い中小企業の人材育成研 ◆中堅社員対象リーダー とスキル向上を目指す。応と課題解決への意識ス課題への積極的な対 対 シップ研修

ン方法にを学習。当日は円滑なコミュニケーショ

課題を認識し信頼を築く

てリーダーとしての自己

多摩高度化事業協同

合:2社

5 名

名刺交換・顧客訪問・来 名刺交換・顧客訪問・来 な課題を、グループのメ なだ社会人として基本的 など社会人として基本的 を交えて実践し今後のビ

様化している部下に対し、研修では価値観の多

• (一社)練馬産業連合会

.: 2 社

名の中堅・ベテラン社員6地域団体の12社より29

入社員合同ビジネスマナ

-研修』を4月4日火~

ジネスでの活用へ理解を

企画第1弾として、

|画第1弾として、『新また、令和5年度研修

が参加し講義、

ープワークに熱心に取

で開催した。5日水の2日間にわたり

識の習得』とし、「学生かとしての最低限必要な知

研修の狙いを『社会人

令和6年2月予定 (開催期間)1日 中堅管理者、初任管 理職(候補含む)者 員 30 名

(研修効果) ・自己のリーダーシッ プスキルの向上 ロナ感染症収束の気配もり組んだ。今回は新型コ でもあり多数の参加を得 もより関心の高いテーマ見えまた各企業にとって

でいた。終了後のアンケ終始熱心に課題に取組ん た。各社を代表する参加 者は問題

意識も明確で、

ョンは貴重な機会を得られの方とのディスカッシー 具体的な 意見では ・感想が多く挙げられた。 ートでは満足度について る」とした。

シュパーソンが参加し社3企業から4人のフレッ本年度は3地域団体、 携研修機関との共催研修者数が少ないことから連り組んだが、今回は参加なまなざしで積極的に取 2日間にわたる講義でとしての実施となった。 会人として初めての講義 とグループワークに真剣

を図りたい。

局の多大な協力のもと参 大実により会員企業の満 を実により会員企業の満 を実により会員企業の満 を実により会員企業の満

「実践的な内容でビジネドーの必要性を理解し、 えの確立! ビジネスマ 替えと新人としての心構 を全員が満足と回答。来 も全員が満足と回答。来 るべき業務での実践を誓 った。 一つ回も各地域団体事務 一つの多大な協力のもと参 ◆アンケー · (二社) 工業会 のアンケートで 練馬産業連合 品川産業協会 ト績 :1社 2名

(3地域団体 3企業団体は以下の通り。一一へ本研修の参加者と所属

_ 月 機関紙工団連11月号

産業交流展2023出展 第3回正副会長会議第3回参与会(初旬) 予算要望活動(予定)

機関紙工団連1月号 新年賀詞交歓会 工団連会長表彰式典、 令和6年

2 月 • 工団連主催従業員研修(企画予

ガ等で別途ご案内しますのでご確認

一当、詳細はホームページ・メルマ ・第2回理事会 ・第3回正副会長会議 ・第3回正副会長会議 第4回正副会長会議たま工業交流展出展 定 令和5年度工団連事業(予定)

担 新入社員ビジネスマナー研 (4~5日)

研

修報告-

!

事会 (11日)

9月 •第2回正副会長会議 (4 ⊟

・、田連主催経営セミナー闘・予算要望活動(予定)・第2回参与会(初旬)・機関紙工団連9月号

担 企画予定

• 予算要望活動(予定) を) (企画子) (企画子)

<u>20</u> 開催

は次のとおり。 令和5年度工団連の月別事業予定 7月 8月 • 令和5年度予算要望活動開始• 第1回参与会(5日) •機関紙工団連7月号 第1回正副会長会議・第1回理機関紙工団連5月号 第64回工団連通常総会(25日)